



令和 4 年度 施設の評価表

園名：たかさごナーサリースクール大通公園

評価日：令和 5 年3月31日

I.経営の重点に関わること

* 評価について * A…十分達成している B…概ね取り組んでいる C…取り組んでいるが、成果が十分でない

項目	内容	自己評価	課題点・改善案（確認項目参考）
1 保育所・保育指針	・保育所保育指針・全体的な計画は園の理念、方針、目標に基づき、子どもの発達過程を踏まえて教育、保育のねらい、内容が総合的に展開されるよう編成されている。	A	リーダー会議・ブロック会議・職員会議・HIROKOメソッド・全体の計画・年間指導計画や指導案についての作成・話し合いを行っている。新規導入事項も職員会議での話や、カリキュラムについての作成確認などを行っている。
	・全体的な計画をより適切なものに改めていくという姿勢を全職員が持っている。	A	
	・指導計画を作成するにあたり、一人ひとりの子どもの発達過程や状況、クラスの実態について職員の共通認識のもとに作成している。	A	
	・子どもの発達状況、月や期の目標、教育、保育の実態について職員間で話し合う機会を設けている。	A	
	・就学先の小学校へ子どもの育ちを支える資料を確実に送付し、情報共有を図っている。	A	

II.各領域に関わること

項目	内容	自己評価	課題点・改善案（確認項目参考）
1 施設の保守点検	・施設の保守点検	B	設備点検、消防用設備点検の実施、 防災マニュアル整備、防災訓練の年12回の実施を行なっている。 不審者対策としては訓練の実施、入口の鍵についての4月、3月の修理を行なっているが施錠の確認などを行なっていく。 施設内、カーペットクリーニング、今年度は張り替えの実施を行なったことでの施設の整備を行なっている。
	・施設の清掃等	B	
	・防災への配慮	B	
	・防犯への配慮	B	
2 子どもの権利の尊重	・子どもの権利について職員全体で理解し、十分配慮している。	B	全国保育士会倫理綱領・児童憲章 個人情報保護マニュアル（プライバシーポリシー・情報管理マニュアル・鍵管理）・NG用語虐待マニュアル確認などを実施。また、研修では、昨年12月にあった事件に対しての周知や、研修を実施している。
	・保育者は子どもに対して威圧的、命令的、否定的な言葉遣い、身体的虐待をしていない。	B	
	・長期欠席の子どもの状況把握をしている。	A	
	・子どもの様子で気になる事は関係機関に報告している	A	
3 教育・保育施設並びに保育者の質の向上	・子どもの様子で気になる事は関係機関に報告している	B	保護者アンケート、行事のアンケートの実施を行なっている。また、子育て支援の取り組みを今年度は充実させ、園からの発信を行なっている。
	・個人情報保護について職員全体で確認し十分配慮している。	B	
	・地域の状況を把握し、法人の目指す教育、保育方針を理解し園としての取り組みを職員へ伝えている。	B	
	・保育所保育指針を理解し向上心を持って教育・保育に取り組んでいる。	B	
4 環境	・子どもと保護者のおかれた状況を受け止め保護者とのよりよい関係を築き良好に保つための努力をしている。	B	保護者アンケート、行事のアンケートの実施を行なっている。また、子育て支援の取り組みを今年度は充実させ、園からの発信を行なっている。
	・利用者（保護者）の意見を聞き改善に努めている。	B	
	・保育者は、自身が子どもにとって重要な環境である事を十分に意識し、子どもの人権に配慮した対応をしている。	A	
	・各保育室は整理整頓され、雑然としていない。	A	
5 愛着形成	・各保育室には、一人ひとりの成長発達を考慮した遊びを準備している。	B	掃除点検票の実施を行なっているが意識をもう少し高めて行なっていけるようにする。遊具に関しては、新しいものの導入、見直しを行なっている。
	・保育者は一人ひとりの思いを受け止め、共感したり認めたりしながら、信頼関係を築いている。	A	
	・子ども同士が互いの気持ちや発信を受け入れられるように援助している。	A	
	・個別記録の記載、クラスのお子さんへの情報の共有、担任制での実施を行なっている。	A	
6 健康・安全	・乳幼児期にふさわしい食生活が展開され、適切な援助がおこなわれるように、食事の提供を含む食育の計画を作成し、保育の計画に位置付けるとともに評価・改善に取り組んでいる。	A	災害時のマニュアル等については整備をし、読み合わせ確認の時間をとっている。アレルギー対応に関しても食札や名前などの確認をし、ダブルチェックを行ない誤提供などがないように取り組んでいる。 緊急時、災害対応マニュアル、SIDSチェック、アレルギー対応、保健計画、感染マニュアルの確認、緊急時の職員体制、等確認をし、実施をしている。 感染症について、体調の把握、手洗い消毒、園内前での検温などの実施を継続して行なう。 戸外活動の珠実ができるようにしていく。
	・アレルギー対応マニュアルが整備されており、マニュアルに沿って対応している。	A	
	・子ども一人ひとりの生活リズムや体調を考慮し、睡眠・食事・遊びのバランスを取っている。	A	
	・S I D Sチェックには十分配慮し対応し、睡眠時の記録を取っており、睡眠している時は必ず、保育者が保育室にいる。	A	
	・年2回健康診断（内科検診・歯科検診）を行っている。	A	
	・衛生管理・感染症対策等に関するマニュアルが整備されており、マニュアルに沿って対応している。	A	
	・年齢発達に合わせて、うがいや正しい歯磨き、手洗いの方法を指導している。	A	
	・子どもの健康について保護者との情報を共有している。	A	
	・施設内外や園外保育先の安全点検を実施してから子どもを遊ばせている。	A	
	・緊急時に対応できる職員体制が整っており、役割分担が決まっている。	A	
	・子どもが危険な場所や災害時の行動の仕方が分かり安全に配慮して駆動できるよう、計画的に教育・保育を実施している。	A	
	・薬品や洗剤の管理、転倒防止や指詰め防止、避難経路の確保が適切である。	A	
	・栄養士・保育者等は衛生管理への配慮がなされている。	A	
	・警察や消防署、近隣の病院との連携が取れる体制がある。	A	
7幼保小連携	・0.1歳児からの保育の積み重ねが5歳児の姿となり、小学校就学への滑らかな移行につながることを全職員が理解している。	A	小学校への保育要録の作成、情報の共有を行なっている
8特別支援	・必要に応じて支援センター等との助言を受けている。	A	個別の面談の実施、お子さんの状況を保護者様との共通の理解にできるようにすること、専門機関との連携も実施も行なう他、定期の研修を行なっている。
	・子どもの成長発達を保護者と共有する保育参観・授業参観や個人面談等を設けて、相互理解を図っている。	B	
9保護者、家庭及び地域と連携した子育て支援	・第三者評価や、利用者アンケートに取り組み、その結果を保護者に伝え、教育・保育の改善に活かしている。	A	保護者アンケート、行事のアンケートの実施を行なっている。また、子育て支援の取り組みを今年度は充実させ、園からの発信を行なっている。今年は、外部発信の部分では公式 l i n e の整備、子育て支援の充実を行なってきている
	・行政や地域で行われている子育て支援施策を理解し取り組み、必要とする家庭を関係機関につなげている。	A	
	・施設が実施している子育て支援事業の情報を積極的に発信している。	A	

考察

今年度は、コロナウイルスの収束に伴って行事等を外部で行なうことや、コロナウイルスのまん延前の状況に少し近づけられるような1年となったことは良かった。アンケート等で外部の発表会や取り組みについては良い反応だったので、お子さんにとっと保護者様にとってということを社会の状況をみながら行なっていけるようにする。また、大きな部分では、園の床の張り替えの実施により、園の雰囲気やクリーニングを行なっている。日々の清掃等の取り組みについてなどはもう少し意識を高め、行なっていけるようにする。卒園時、在園児のイベントや取り組み、ご案内なども次年度の計画として行なえるようにしていく。大きな事故が起きなかったは継続して注意をして行なっていく。次年度の取り組みとして、認定こども園への移行があるので、新しい取り組みや、案内の仕方などは、丁寧に行なっていけるようにしていく。